

# 倫理 授業 No.9 テーマQ.&A.プリント

## 1. 今日のテーマ・クエスチョン

### ユダヤ教の成立事情とその内容とは？

## 2. テーマ・アンサーのキーワードをピックアップ

※教科書P. 51・52の中から見つけよう！

紀元前13世紀頃、イスラエル人の宗教的指導者（ 1 ）は、当時エジプトで奴隷状態におかれていたイスラエルの人々を率いてエジプトを脱出し（「（ 2 ）」）、故郷のカナン（今のパレスチナ）地方へと向かった。（1）はその途中、シナイ山で神（ 3 ）の言葉を聞き、十カ条の掟（「（ 4 ）」）を授かった。

（3）はイスラエル人に神の命令（律法）を授け、それを守れば民族に恩恵をあたえ、そむけばきびしく裁くことを約束した。イスラエル人は、自分たちは神によって選ばれた民族であり、律法を守って神の恩恵に応えれば、苦難から救われると信じた（〈 5 〉）。

紀元前6世紀には、イスラエル人は奴隷としてバビロニアに連れ去られた（「（ 6 ）」）。そのような民族の苦難の中で、イザヤやエレミヤなどの神の言葉を伝える預言者があらわれた。

### <キーワード記入欄>

1 ( ) 2 ( ) 3 ( )  
4 ( ) 5 ( ) 6 ( )

## 3. 今日のテーマ・アンサー（テーマ・クエスチョンの答）確認

※今日のノートに取った内容や2.でピックアップしたキーワードを参考にしよう。

T. Q. 「ユダヤ教の成立事情とその内容とは？」

T. A.

「〔① 〕」や「バビロン捕囚」などの民族的受難を受けたヘブライ人には、〔② 〕が授かった「十戒」を中心とする〔③ 〕（トーラー）を守れば、神は私たちだけを救済するという〔④ 〕思想をはじめ、終末思想や〔⑤ 〕（救世主）待望の考え方が生まれた。これがユダヤ教の基本的な思想となった。

### <記入欄>

① [ ] ② [ ] ③ [ ]  
④ [ ] ⑤ [ ]

[ ] 年 [ ] H No. [ ] 氏名 [ ]